

韭 工 ニュース

県立韭崎工業高等学校 総務部
第 143 号 2016.03.23

第 51 回卒業式挙行
高校入試合格発表
レスリング部の快挙
インターハイに出場して

第 51 回卒業式が挙行される

平成 27 年度第 51 回卒業式が 3 月 1 日本校体育館で執り行われました。今年の卒業式は、本校卒業生が延べ万人を越える記念すべき年となりました。手塚幸樹校長から 6 科の代表生徒に卒業証書、皆勤賞に続いて特別表彰の油井七海

(シニアマスター：高根中)、鶴田慶成 (シニアマスター：甲府南西中)、林 雷 (やまなしスポーツ賞：長坂中) の 3 名に賞状が渡されました。校長の式辞に続き、内藤久夫韭崎市長・岩下百合香 P T A 会長・八巻邦久同窓会長より心温まる激励の祝辞を頂きました。在校生を代表して河住昇汰生徒会長 (竜王北中) による送辞、伊藤珠羅前生徒会長 (玉幡中) からの答辞では、感極まり涙



ぐむ生徒の姿が見られました。卒業生・出席者全員による最後の校歌が静粛の体育館に響き渡り、卒業生 168 名の新たなる門出を祝うと同時に今後の活躍を力強く励ましていました。大空に羽ばたく卒業生の未来に、幸多きことを願っています。



高校入試合格発表

平成 28 年度の高校入試につきましては、2 月 2 日 (火)、3 日 (水) に前期入試、3 月 3 日 (木) に後期入試を実施し、3 月 11 日 (金) に合格発表を行いました。本校の受検者数及び入試倍率は次のとおりでした。募集定員 180 名に対して、前期 76 名および後期 135 名の合計 211 名の受検者数となり、入試倍率は、1.17 倍で、平成 19 年度の高校入試改革以降、10 年連続で 1 倍を超える入試倍率となりました。近年の技能士等のハイレベルな資格取得、県内外の各種競技会・コンテストでの上位入賞、今年度の県総合体育大会学校対抗 7 位という成果を上げた部活動、さらには就職・進学内定率 100% 継続の進路実績など本校生徒の取り組みの成果が各中学校に高く評価された結果であり、本校に対する期待の高さの表れであると思われます。



合格した 180 名の新入生は、4 月 8 日 (金) の入学式が高校生活のスタートとなります。本校のさらなる飛躍と自身の進路実現のために、充実した 3 年間を送って欲しいと思います。

URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>

e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp

レスリング部: 関東選抜大会で学校対抗戦優勝

1月30・31日に千葉県の佐倉市民体育館で行われた「第42回関東高等学校選抜レスリング大会」へ参加しました。学校対抗戦は、各都県代表2校がエントリーし、全国選抜大会の出場権を掛けて16チームで争います。1回戦、栃木県の足利工業高校と対戦し5対1で快勝、2回戦

は、1 昨年の全国優勝校である埼玉県の花咲徳栄高校に4対3と辛勝、準決勝戦では、群馬県の館林高校に5対1で快勝し、山梨県勢として初の決勝進出を決めました。決勝戦は、重量級にモンゴルからの留学生、軽中量級に中学時代のチャンピオンを多数擁する千葉県の柏日体高校との対戦でした。過去の戦績からすると、勝つことは難しいと思える相手でしたが、部員全員が自分のスタイルに徹したことが功を奏し、大番狂わせとも言える逆転劇で勝利を収めました。勝負が決まった瞬間、会場が大きくざわついたのが印象的でした。関東ブロックは、伝統的に私立高校が強く、公立高校が優勝したのは、1975年度大会の足利工業高校以来40年ぶり2校目でした。県内外の多くの方から祝福して頂き優勝の喜びをかみしめました。2日目の個人戦へは、6階級に7人がエントリーし、66kg級の安楽龍馬（韮崎西中出身）と74kg級の下山田周（竹来



中) が決勝へ進出しましたが、共に判定で敗れ2位、その他50kg 稲葉海人（韮崎西中出身）、55kg 矢部和希（国府中）、84kg 古川裕貴（高根中出身）の3名が3位に入賞し、3月27日から新潟県で行われる全国選抜大会への出場権を得ました。全国でも関東代表の名に恥じないよう戦い、良い色のメダルを必ず持ち帰ってもらいたい。【写真提供：日本レスリング協会】

スキー部: インターハイ出場

2月4日～8日に青森県南津軽郡大鰐町のあじゃら高原で開催されました。インターハイでは種目ごと都道府県別に出場枠が決められており、山梨県はクロスカントリー競技のフリー、クラシカル種目は各6名、リレー種目は1チームでした。県高校総体が予選を兼ねており、本校山岳・スキー部からはフリー、クラシカル種目に各3名とリレー種目に出場しました。高校に入学してから始めたクロスカントリー競技



ですが、夏場の山での体力トレーニングと年末の雪上合宿での技術練習で今年も全国大会を戦ってきました。結果はフリー10kmに192名が出場し、中込大志君（2年）が142位、篠原



正輝君(3年)が162位、天谷岳君(2年)が164位でした。クラシカル10kmには187名が出場し、篠原正輝君が139位、天谷岳君が148位、中込大志君が151位でした。また、リレー10km×4では第1走クラシカル10kmに篠原正輝君、第2走クラシカル10kmに天谷岳君、第3走フリー10kmに小澤唯斗君(2年)、第4走フリー10kmに中込

大志君のメンバーで出場し36チーム中35位でした。大会では全国との力の差をまざまざと見せつけられましたが、来年は2ケタ順位、リレー20位台を目指して頑張りたいと思います。